

創立40周年

創造・誇り・愛！ 輝く七中 ^{きら}煌めけ生徒！！



とらのき

立川市立立川第七中学校
校長 大神田佳明
学校だより
第8号

〒190-0034 東京都立川市西砂町 6-28-3

平成29年12月5日

TEL (042) 531-0511~3 FAX (042) 531-6103 URL <http://www.tachikawa.ed.jp/jh07/>

「命の授業」蓮池 薫さんの講演会

演題「現代の中学生に伝えたいこと」

校長 大神田佳明

11月28日（火）蓮池 薫さんをお招きして「命の授業」を開催いたしました。蓮池さんは15年前の2002年に北朝鮮から帰国した5名の拉致被害者の一人で、現在は、新潟産業大学准教授として朝鮮語や韓国、朝鮮の文化をご指導されています。今回は、七中生徒のためにご多忙の中、新潟県からご来校いただきました。また、講演会には保護者や地域の皆様にも多数ご参加いただきありがとうございました。

本校の「命の授業」では過去4回、横田めぐみさんのご両親である、横田 滋さん、早紀江さんをお呼びして講演と交流会を実施してきました。13歳で拉致されためぐみさんのご両親との交流を通して、生命や家族の大切さを学び、人権を尊重する実践的な態度を育んできました。今回の講演会は、拉致問題が社会から忘れられ風化されないように、若い人たちにも自分の体験談を通して拉致問題に関心を持ち、考えてほしいという蓮池さんの思いにより実現しました。

講演の冒頭、北朝鮮から突然拉致された時の体験談は、聞いている私たちにとって大きな衝撃であり、心を痛める内容でした。蓮池さんが帰国した15年前はまだ生まれていなかった生徒も多く、生徒たちは真剣に蓮池さんのお話を聴き入っていました。

◆蓮池さんからは、次のようなお話がありました。◆・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

「拉致された直後は、夢を選択する自由や家族や友達との絆など、人生そのものを奪われた絶望感で生きる希望がなくなった。なぜ自分がここで死ななければならないのかと思い、生きていれば何か光が見えるだろうという気持ちで、命の重さや強さを感じながら苦勞を乗り越えた。朝鮮語を覚え、1年足らずで会話ができるようになると、招待所の人から様々な情報が入ってきた。拉致されてから2年後、一緒に拉致された妻（祐木子さん）と再会でき、結婚して二人で心を寄せ合って生活した。北朝鮮で生まれた2人の子どもには、将来を考え北朝鮮で平凡な暮らしができるよう、日本人であることや日本語は教えずに育てた。中学生の皆さんは、自分の夢を求めることができるし、何でも選択できる自由がある。負担になることもあると思うが、自分の夢を求めていく過程で新しい自分を見付け、自分の夢を追いかけて生きていくことが支えてくれる家族への恩返しになる。また、拉致は、北朝鮮の上層部の意向で行われていること。一般の市民は、拉致事件のことは知らず貧しく苦しい生活をしている。日朝国民が平和に暮らせる日が来ることを願って拉致問題を解決しなければならない。まだ帰国できていない他の拉致被害者は日々帰国を待ち続けている。今後も、残された拉致被害者の帰国と拉致問題の解決のために力を貸してほしい。」

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

蓮池さんのお話を聴いて、生徒からは「家族に支えられて自分か生きていることに感謝したいと思います。」「両親や家族の思いが自分の命に込められていることが分かりました。」など感想が寄せられました。講演会を通して、拉致問題の真実を蓮池さんから学んだことで、命の大切さや、家族への感謝の気持ちが育まれたと思います。

最後に、御礼の言葉と、全校合唱「ふるさと」を蓮池さんに贈り、講演会を終りました。その後、蓮池さんと1年の生徒との交流会を行い、講演会の感想や講演で考えたことをグループで伝え合いながら、命の授業を振り返り考えを深めることができました。



2学年が「国際理解体験学習」～横田ミドルスクール来校

英語の力を付けるには、家庭学習の習慣化が不可欠で、家庭学習を促すものは、「英語を勉強したい」という意欲です。2年前、私が真剣に英語を学んだ原動力は、学校でも塾でもありません。実際に同年代の外国人たちと会い、「もっと外国人と話してみたい。友達になりたい。」という意欲でした。

今年度も、七中生在横田基地の同年代の生徒たちと実際に関わり、それにより、英語学習の意欲を高めることができると考え、2学年の体験学習を実施しました。当日、七中生は持ち前の積極性で、コミュニケーションを自分から進んでとり、横田の生徒たちとの関わりを大いに喜び、楽しんでいました。同時に、会話内容が少し複雑になると、一般的な中二の英語力では、言いたいことが伝えられないもどかしさも痛感していました。学習後、「先生。これから英語、頑張りますよ。」という声をたくさん聞きました。今回の体験を通して、英語に対する学習意欲が高まったのではないかと思います。

(英語科教諭 深水 敬樹)



立川市選手団 結団式 11/18(土) 中学生「東京駅伝」の本番は2月4日(日)



今年で9回目になる中学生「東京駅伝」大会の結団式がありました。会場となった立川6中には、選考会で選ばれた男子21名、女子21名の選手と保護者、各校のPTA会長や学校関係者等が集合しました。七中からは厳しい選考会をパスし、見事、立川市代表に選出された**2年生の仲浩志郎君と守屋雄磨君、小林心吾君**が結団式に臨みました。その後、立川市内の他校の選手とともに練習会に参加し汗を流しました。なお、本番は、2月4日(日)で、調布市の味の素スタジアムで行われます。

立川市中学生サミット 11/25(土)

立川市役所で立川市生徒会サミットが開催されました。市内の中学校生徒会役員の代表35名が集まり、意見交換を行い、七中からは、**アディカリもえ**生徒会長、**鈴木あかね**副会長、**本田あお**は書記の3名が出席しました。今回のテーマは、SNS 学校ルールや学校生活、オリンピック・パラリンピック大会など身近な話題を取り上げて話し合いが行われました。



後期生徒会本部より 生徒会長 アディカリもえ

こんにちは！生徒会本部です。七中の後期生徒会本部のスローガンは、『40周年の愛をはぐくもう』です。七中は、「あいさつ」「礼儀」がしっかり身に付いていて、元気で思いやりのある学校です。この良いところを守っていき、悪いところはしっかり直していきたいと思っています。

11月に参加した『生徒会サミット』では、立川市内のそれぞれの中学校生徒会役員と様々なことを話しました。他の学校の良いところを参考にして、自分たちの学校を良くする活動を行わせていただきました。

今後、私は、不要物などについて、①もってきて良いもの ②もってきてはいけないもの をもう一度はつきり把握して、みんな1人1人が七中のルールを守っていけるようにしていこうと思っています。

○避難訓練 11月24日(金)

放課後に地震が発生したことを想定して、午後4時30分より訓練を行いました。部活動、生徒会・委員会活動など縦割りの活動中でしたが、迅速に整然と訓練を行うことができました。



<お詫び>

学校だより11月号において、中学生人権作文の表彰記事の「人」の文字が抜けておりました。大変失礼しました。お詫び申し上げます。

○校内研修 11月29日(水)

今年度最後の研究授業と研究協議会が行われました。授業は、1年3組の理科の「音の世界」の単元でオシロスコープを使った実験を行いました。山口教諭は大型モニターやギターを駆使し、生徒に考えさせ、発表の場を設けました。

その後の研究協議会では、教員のグループ研修を行いました。

